

市民が主役！練習に熱

ひだ・みの創作オペラ



秋祭り
市内小中高校の児童生徒が多数出演。
上矢作中学校1年生は村祭りの場面で太鼓を披露します。



西忍池
大勢の市民の皆さんが出演。練習に熱が入ります。歌うことと演じること、オペラの魅力を伝えます。



公演を支える高校生の活躍

市内にある3つの高等学校の生徒が、サポートスタッフとして公演に協力しています。授業や部活動で身につけた技能や特技を、発揮しています。

恵那高等学校

ポスターの製作で、神谷祐未さんが題字を、木村莉彩さんが原画を作りました。放送部の田口瑠莉さんと田口鮎乃さんは、公演当日の場内放送を担当します。

生徒会役員と女子バスケットボール部の皆さんは、運営補助を担います。



▲ポスター製作の神谷さん(左)と木村さん(右)



▲放送部の田口瑠莉さん(左)と田口鮎乃さん(右)

恵那南高等学校

吹奏楽部の西尾菜奈さんがフルートで、中西彦太さんと松原匠さんがパーカッションで、「西忍池」の伴奏に参加します。



▲伴奏の中西さん(左) 西尾さん(中) 松原さん(右)

恵那農業高等学校

園芸デザイン科3年生の皆さんはホワイエなどの会場装飾を担当。フラワーデザインが、華やかに会場を飾ります。



▲園芸デザイン科3年生の皆さん

公演のご案内

□とき 平成30年2月11日(日) 午後2時開演(午後1時15分開場)

□ところ 恵那文化センター

□入場料金 ▽一般12000円 ▽高校生以下11000円(全席自由)

□チケット販売 平成29年12月1日(金)〜

□チケット取扱所 恵那文化センター

※その他、東濃4市と岐阜市でも販売

□上演演目 「秋祭り」「西忍池」

□出演者情報 「秋祭り」では、主役の娘さよを岩邑中学校3年の佐伯聖愛さんが、比久尼役を恵那音楽劇の会の加藤規子さんが務める。市内小中学生や高校生が多数出演。「西忍池」では大人たちに混ざって、恵那高等学校の生徒が出演する。

せ 当日の正午から午後0時40分まで、恵那文化センター1階展示室で、市内3高校の生徒が学校をPR。恵那南高等学校が株式会社恵那川上屋と共同考案した「南高栗」(クリの甘露煮)も販売します。

知 お 問い合せ 生涯学習まちづくりセンター 025-5711 (公財) 岐阜県教育文化財団 058-233-5810

「ひだ・みの創作オペラ」は、特色ある岐阜県の文化(飛騨・美濃じまん)を創り上げることを目的に、県内各地の豊かな自然や地元につながる民話や伝説を題材とした創作オペラを制作し、県内各地で上演されてきました。今回は恵那市での開催。市内の児童・生徒や市民の皆さんが多数参加し、練習に汗を流しています。高校生の協力も光るこの公演。本番は2月。ますます熱が入ってきました。

□問い合せ 生涯学習まちづくりセンター 025-5711

小中学生が中心の初作品

一つ目の作品は「秋祭り」。恵那に伝わる民話を題材に、演出・台本を担当される松岡直太郎先生が、新たに書かれた作品です。この作品の特徴は小中学生が中心となって構成される作品であること。今回22回目となる「ひだ・みの創作オペラ」の歴史の中で、初めての試みです。児童生徒の練習の成果をぜひご覧ください。

熱演でオペラの魅力を伝える

もう一つの作品は、飛騨地方に伝わる伝説が原話の「西忍池」。この作品には3人のソリストが参加する他、多くの市民の皆さんが出演します。仕事や家事のある中、限られた時間で熱心に練習が進みます。創作オペラの醍醐味をぜひお楽しみください。

写真提供：(公財) 岐阜県教育文化財団